

特別支援教育関連ニュース

2018年10月号 VOL.2,NO.6

日本作業療法士協会 制度対策部 障害保健福祉対策委員会 障害児支援班

急に秋が深まってきました。今回は、今年度に引き続き研修の後方支援募集と、新たな研修プログラム（実践編）試行のご案内です。

● 特別支援教育に関する人材育成研修会（基礎編）後方支援について

今年度に続き「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会（基礎編）」の土会開催後方支援を行います。特別支援教育に携わることのできる作業療法士の育成に向け、土会と協会が協力して、取り組んでいければと考えています。是非ご検討ください。

1. 概要

協会では「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会」というタイトルで重点課題研修を3年間開催し、研修プログラムの開発、活用資料（配布用、投影用）の整理などを行ってきました。このプログラムと資料を活用して、特別支援教育に関わる研修を開催する土会の後方支援を行います。2018年度は6土会から応募があり、順次開催されているところです。2019年度も引き続き、後方支援を受けて開催を希望する土会を募集します。この事業は2019年度で終了となる可能性があります。（それ以降は協会の予算補助はなくなりますが、研修プログラムや活用資料を提供いたしますので、土会予算で開催いただくことが可能です。）

2. 研修プログラムと講師について

	プログラム（案）	所要予定時間	講師（例）	
1 日目				
1	オリエンテーション	10分	主催者	事務連絡等
2	特別支援教育と作業療法の関わり～教育現場で作業療法士が行うこと～	60分	協会担当者	
3	日本の特別支援教育の今	90分	都道府県教育委員会	県教委との連携に活用ください

4	日本の教育の制度と内容	90分	教育学系大 学教員等	地域の人材を探し てください
2日目				
5	作業療法士が関与可能なモデル	20分	協会担当者	
6	総合的なアセスメント	110分	OT	協会より協力可能
7	学校における作業療法士による 支援	30分	OT	協会より協力可能
8	事例を通じた学び（グループワ ーク含む）	90分	OT	協会より協力可能
9	まとめ（研修のまとめ，今後の 展望など）	20分	OT	協会より協力可能

- 研修内容の均質性維持のため講義資料，映写スライドを提供いたしますので，それに沿って講義していただきます。
- プログラム3は都道府県の教育委員会に依頼ください。プログラム3の資料には新しい情報や県の独自事業について追加してもらって構いません。プログラム4は学校教育制度に詳しい人材にご依頼ください（たとえば教育大学教員，教育委員会で就学相談を担当している元校長等）。プログラム3,4の講師への説明資料や講義いただく内容は，協会から提示させていただきます。
- OTが講師となっているプログラムは，特別支援教育領域での実績のあるOTが適任です。地域で適任者がいれば依頼ください。もし適任者がいない場合には，協会より講師を派遣します。派遣講師と人数は協会に一任いただきます。複数のプログラムを一人の講師が担当することもあります。

3. 経費について

参加費

土会の財源になります。金額は土会の裁量で決めていただいで構いません。ちなみに協会の重点課題研修では2日間のプログラム（1日目12:30~17:00, 2日目10:00~15:50）で8,000円でした。

講師謝礼

土会の規定に従って土会でご負担下さい。

会議費

講師，スタッフのお弁当は土会でご用意下さい。

旅費

講師，スタッフともに士会でご負担下さい。ただし，協会より派遣する講師については旅費宿泊費のみ協会でご負担いたします。

4. 開催準備について

研修資料

すべての映写スライドとスライドの配布資料は協会より提供します。研修内容の均質性維持のため講義はスライドに沿って行ってください。必要な資料の印刷は士会で準備ください。

広報

「特別支援教育関連ニュース」等にて各士会に開催案内をいたしますので，ご希望の際には広報書類を提供ください。

懇親会

特別支援教育領域に関心のある会員のネットワーク作りのために懇親会の開催を推奨しています。ご検討ください。

当日スタッフ

会場係，受付，講師対応等の研修会の運営に関しては士会で行ってください。

5. 応募方法

①～⑥を明記のうえ，応募先メールアドレスにメールにてお申し込みください。お問合せ，ご相談等はこちらのアドレスにお願いします。

希望士会が多い場合には地域を考慮して選考させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

- 応募先 ot_seido@jaot.or.jp
- 応募締切 12月末
- 開催決定 1月末までにご相談ご連絡させていただきます。

① 士会名

② 担当者名（所属，会員番号，氏名）

③ 担当者連絡先（電話番号，メールアドレス）

④ おおよその研修会開催希望時期（開催希望月を第2希望まで）

⑤ 協会からの講師協力希望の有無

⑥ その他（近隣県との合同開催希望など）

● 平成 30 年度 学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会 (実践編) プログラム試行のお知らせ

これまで協会では「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会」を協会の重点課題研修として 2014 年度から 3 年間実施し、2017 年度からは士会開催の後方支援を行ってきました。この研修会は特別支援教育領域に関わり始める作業療法士が知っておきたい基本的知識を提供するもので「基礎編」という位置づけで考えています。

実際に学校に関わるために、もう少し実践的な知識を得たいというご意見も聞かれており、当委員会では、学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会の「実践編」を基礎編同様に各地で開催いただけるよう準備を進めています。

今年度は以下のとおりプログラムの試行を予定しています。基礎編同様、何年かかけて完成させ、士会で開催いただくことを目指しています。今回の試行プログラムを受講いただける方を募集します。受講対象者は基礎編受講済みの方としておりますので、該当の会員の皆様への周知のご協力をよろしくお願いいたします。

日 程	2019 年 2 月 9 日 12:30~17:00, 10 日 9:30~16:00
場 所	かやの木会館 (東京都台東区蔵前 3-22-9)
内 容	ビデオ教材を用いた講義, アセスメント演習, 事例検討など
対 象	学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会 (基礎編) *受講済の者
定 員	40 名
参加費	無料 ※受講者の方にはプログラム内容についての意見をいただきます
締 切	2019 年 1 月 31 日 (木)
申 込	下記 URL もしくは右の QR コードより 申込フォームにアクセスし 必要事項を入力の上、送信してください https://goo.gl/forms/LFfFYDKkXPjWeEBj1



* 学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会 (基礎編) は、2014~2016 年度協会主催 (重点課題研修)、2017 年度山形県士会主催、2018 年度佐賀、宮城、新潟、千葉、兵庫、静岡県士会主催のもので